

Chong Lii
Christian Kingo

ブルートラペジウム, 2020

「ブルートラペジウム」は、青い台形という意味のタイトルで、シンガポール人アーティストの **Chong Lii** とデンマークの映像作家 **Christian Kingo** によって共同制作された映像作品です。

この作品では全ての人体における脳の独特な位置と役割を探ります。知識とは、たびたび闇を消す「光」といわれています。ところが、この知識や理解するという能力は、それ自体が頭蓋骨に囲まれた空間にある脳の「暗い」切れ目にあります。この場所から全ての人間の身体的行動や精神的プロセスが始まります。しかし個人はそれぞれ独自の知覚や記憶・解釈を身に着けています。

どこへ向かうのか誰を追いかけているのか分からないまま、映像の登場人物は廊下、出入り口、テレビ画面、室内、屋外の場所へと移動していき、私たちはいざなわれていきます。彼らは互いに交わることなく入れ替わり、明確な物語の流れはありません。内容は断片的で、繰り返し変わり続け、物語の音や色、切れ目、進み方はこの作品の空間に弾力性を与えています。

「ブルートラペジウム」は 2017 年にアムステルダム市立美術館で初めて発表されました。オリジナル映像はご覧頂けませんが、2020 年今回の上映のために、再編されリニューアルされました。